



山梨 浩利先生のこころとからだと魂を癒すアート

「守護神」

本誌を横にしてご覧いただくと、3D(立体的)にみえてきます。この時、脳波は自然界(地球)と同調しています。眺めることで心身の健幸に、飾って場の浄化などにもお役立てください。

山梨浩利先生の HADO講座

第25回

HADO(波動)的観点からみた 食材 その2 タマネギ

涙を誘う野菜・タマネギ

紀元前3000年には、既に古代エジプトで食されていたというタマネギですが、日本での歴史は、明治時代に北海道で作られたのが始まりという意外に新しい食材です。

タマネギを切ると涙が出るのは、「硫化アリル」という成分が原因で、タマネギ独特の辛みや香りの元にもなっています。こうした成分のはたらきなのか、タマネギには昔から「新陳代謝をよくする」「疲労に効く」「不眠症によい」といった効果が伝えられており、そのことは、HADO(波動)数値にも顕著にあらわれました。

タマネギは神経系にやさしい食材

タマネギに見られるHADO(波動)的な特徴は「ストレス」や「イライラ」「自律神経系」といったメンタル系の項目で、軒並み高い数値を示していることです。また同じく、2桁の数値が出ている「疲労」や「不眠」「胃」も精神的な要素が大きい項目なので、「タマネギは、鎮静作用がある、神経系にやさしい食材」ということができるでしょう。

寝る時に、枕元へスライスしたタマネギを置いておくと安眠効果がある、とも云われますので、不眠の方は試してみるとよいかもしれません。

煮ても、炒めても、生でスライスしても美味しいタマネギ。高HADO(波動)ライフにぜひご活用ください。

HADO(波動)の概念

HADO(波動)数値とは、生体・細胞が感じる度合いのこと。

プラスの数値は生体・細胞が共鳴・同調していることであり、この数値が高いほど、生体・細胞が「喜び・感謝している」状態を示しています。

逆に、マイナスの数値は生体・細胞が非共鳴・拒絶していることであり、この数値が低いほど、生体・細胞が「嫌がる・拒否している」ことを示しています。

すなわちHADO(波動)数値とは、自然の一部である人間と、自然界の摂理との調和度合いの目安となるものです。

	タマネギ
ストレス	+11
自律神経系	+12
疲労	+12
アレルギー	+7
肝臓	+6
免疫	+9
不眠症	+12
イライラ	+13
胃	+10

HADO(波動)数値は0を基準として+20から-20までの数値で測定します。

- +15以上
癒し効果の高い極めて優秀な食材
- +10以上
健康に役立つ優秀な食材
(肉・卵は+7以上で該当)
- +6以上
一般的な食材(肉・卵は+4以上で該当)
- 0以上
少し低めのレベルの食材
- の数値
健康に負荷がかかる可能性のある食材



エヌピュア 研究開発顧問
山梨 浩利

1962年静岡県焼津市に生まれる。1985年中央大学理工学部工業化学科卒業。大手食品会社で主に食品の研究開発に従事。数々の商品を世に送り出す。サトルエネルギー学会、機器検討委員会などにも参画。その活躍は、広く海外にまで広がっている。

現在、山梨事務所を設立し、微生物、発酵、鉱物をテーマにした本物商品の研究や企画開発などを行っている。(株)エヌピュア 研究開発顧問。著書に『見るだけ聴くだけ 超快眠！CDブック』同超開運！CDブック』がある。